

瀧崎安之助 たきざきやすのすけ 評論家、ドイツ文學者。大正二年七月、二十日愛知縣生れ、昭和五十五年九月五日歿（一九四一六〇）。昭和十四年東京帝國大學文學部獨文科卒。第一高等學校教授、東大教授歴任。（出ドイツで客死。）

譯著書 『ドヴァインガー作ロシヰリヤ日記』全二冊（譯 上・昭和十五年五月十日、下・六月十日弘文堂書房「世界文庫」）、『青春群像』

（合著・小原元鑄、昭和二十二年五月一日道善堂美術）、『現實からり文學』（昭和二十二年八月二十日八雲書店）、『民主主義文學運動』

一九四八年』（合著、昭和二十二年九月二十日新日本文學會編輯）、『リフシツツツ鑄コエルンゲル』全二冊（訳、上巻・昭和二十二年十一月二十日、下巻・二十七年一月二十一日岩波書店）、『ポロ』

・『ヴォライヤーシュ！』文化と人間』（阿部貞鑄、昭和五十七年八月十日勤草書房）、『愛國藝術世とリヤリズム』（昭和五十八年一月十日

未来社）等。

